

鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場の概要

令和3年版

1 所在地

大島郡伊仙町面縄2092

2 沿革

昭和3年4月 糖業講習所徳之島甘蔗原苗圃創設
28年12月 農事試験場大島分場徳之島試験地に改称
41年7月 農業試験場徳之島糖業支場に改称
45年4月 栽培研究室，環境研究室の2研究室体制
53年4月 新庁舎落成
62年4月 農業試験場徳之島支場に改称(現地に移転)
作物，野菜花き，土壤肥料3研究室体制
平成18年4月 農業開発総合センター徳之島支場に改称
平成20年4月 作物，園芸土壤の2研究室体制

3 組織及び職員数

◇支場長 1名
(研究職 1名)
◇総務室 1名
(事務職 1名)
◇作物研究室 6名
(研究職 3名)
(労務職 3名)
◇園芸土壤研究室 7名
(研究職 4名)
(労務職 3名)
◆合計 15名
(事務職 1名)
(研究職 8名)
(労務職 6名)

4 施設概要

◆敷地面積 119,900㎡
〔内訳〕 建物面積 4,400㎡ (研究棟1棟，農機実験室1棟，農機格納庫1棟ほか)
ほ場面積 94,400㎡ (露地，全て畑地)
施設面積 2,400㎡ (ガラス室7棟，硬質板鉄骨ハウス2棟，ビニルハウス11棟)
その他 18,700㎡ (道路，のり面等)



全景

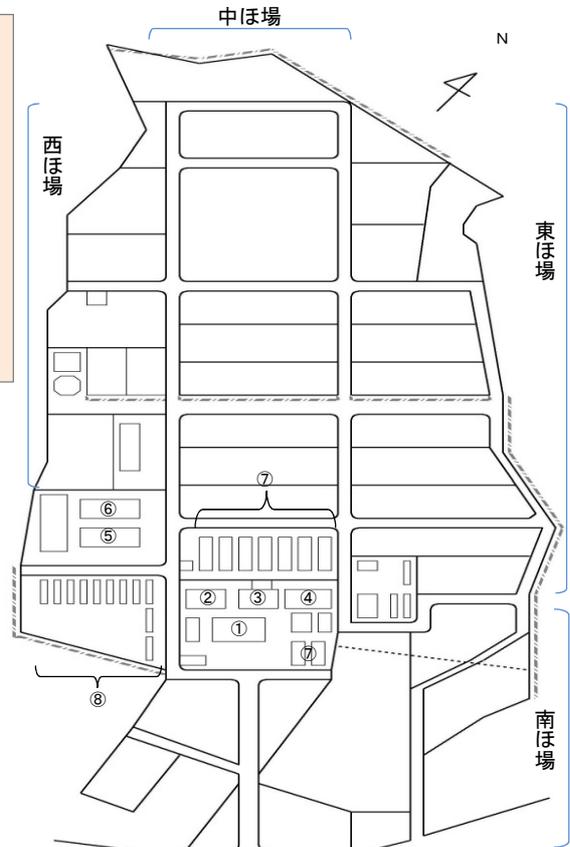


研究棟



ガラス室

- ①研究棟
- ②調整室
- ③資材庫
- ④収納舎
- ⑤農機実験室
- ⑥農機格納庫
- ⑦ガラス室及び硬質板ハウス
- ⑧ビニルハウス



5 主な研究内容

【作物研究室】

- ◇ サトウキビなど畑作物の新品種および栽培技術・機械化等に関する研究
 - ・ サトウキビの新品種育成・優良品種の選定
 - ・ サトウキビの大規模化や機械化に対応した省力的栽培技術の確立
 - ・ サトウキビの生産力強化のための多回株出し栽培の安定生産技術の確立

【園芸土壤研究室】

- ◇ 奄美の特性を活かした生産性向上のための品種・栽培・施肥管理技術の開発
 - ・ リレー出荷のスタートを担う奄美野菜省力・安定生産技術の開発
 - ・ 奄美向けバレイシヨの品種育成・選定
 - ・ 奄美向けキク類の新品種育成および奄美特産花き類の高品質安定生産技術の確立
 - ・ 気候変動等を緩和する園芸品目生産技術の確立および地域資源の活用
 - ・ サトウキビ生産安定のための土壌管理技術の確立
 - ・ コーヒーの品種選定および栽培技術確立

6 現在の取組と成果等



枯葉堆積ほ場でも中耕可能なけん引式中耕機
(通称:スクープ)



株出し栽培に適する新品種
「はるのおうぎ」



サトウキビの潮風害を想定した塩水処理試験
(右奥:処理区)



奄美で広がりつつあるエダマメ



奄美の特産品として注目されるコーヒー



高収益が期待されるトルコギキョウ